

1 キリスト教教理入門

- 1 1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪

- 2 7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

2 第七部 キリスト論

- 23章 キリストの神性
- 24章 キリストの人性
- 25章 キリストの人格の統一性

3 第23章 キリストの神性

1. 聖書の教え
2. キリストの全き神性の信仰からの歴史的逸脱
3. 機能的キリスト論
4. キリストの神性の意味合い

4 1. 聖書の教え

1. イエスの自己意識
 1. イエスを信じる or イエスとともに信じる
 2. 「私は神」 - 公然たる主張は？
 3. 神の大権
 4. 安息日規定
 5. 御父との関係
 6. 大祭司の詰問への回答
 7. 神性の受託、訂正されず
 8. イエスの言葉は神の言葉と同等視
 9. 生と死を超えた力
 10. ご自身を御父と同等視

5 1. 聖書の教え

1. ヨハネによる福音書
2. ヘブル書
3. パウロ
4. “主”という言葉
5. 復活の証拠

6 2. キリストの神性の信仰からの歴史的逸脱

1. エピオン主義

- 人間イエスに、キリストの霊が、ヨルダン川受洗のとき下られ、神の力の臨在を明らかにされた

2. アリウス主義

- ただ神のみが創造されず永遠のお方であり、「ことば」は存在するもののうちで最初で至高のものとして創造された、そして御子は御父より劣ったお方である

7 3. 機能的キリスト論

- イエスがどのようなお方であるかより、イエスが何をなされたか

8 4. キリストの神性の意味合い

1. 私たちは神についての真の知識を知り得る。
2. 贖いは私たちに有効である。
3. 神と人間は再びひとつにされる。
4. キリストに対する礼拝は適切なものである。